

(様式2)新規評価シート

建設部 都市・まちづくり課

事業名		街路		路河川名等		(都)飯田中津川線		
事業毎の通番		1		市町村名		飯田市		
事業目的		当路線は、中心市街地と飯田都市圏の環状道路を結ぶ幹線道路であるとともに、中央自動車道飯田ICと市街地を結ぶ重要なアクセス道路の役割を担っている。 当該箇所は幅員も狭く、歩道未整備区間もあるため、歩行者と車が輻輳し極めて危険な状況である。 よって本事業により、電線類の地中化と合わせた道路整備を行うことにより、安全で円滑な都市交通と景観の向上を図る。						
しあわせ信州創造プランにおける位置付け		5-2快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしを支える道路網の整備)		事業実施の根拠法令等		都市計画法		
関連する事業、計画等		飯田都市計画区域マスタープラン、飯田市景観計画						
保全対象・範囲 受益対象・範囲		計画交通量5,700台/日						
着手年度		平成27年度		事業期間		7年間		
完成年度(見込み)		平成33年度		費用対効果		1.2		
全体事業内容(主な工種)		道路拡幅工 L=440m W=6.0(16.0)m		事業費(千円)		1,700,000		
27年度事業内容(主な工種)		物件調査 1式 用地買収 A=430m2、物件補償 N=5戸		事業費(千円)		300,000		
事業効果		直接的効果(定量的・定性的) 自転車歩行者道の整備と危険な路切箇所解消による通学路の安全確保と交通事故(人身事故)の減少。災害時の避難や延焼防止機能を有する道路整備により、市街地の防災機能の向上を図る。 間接的効果(定量的・定性的) 道路沿線への商業施設の立地や誘導等や、歩行者数の増加による賑わいあるまちづくりの推進が期待される。沿道の住環境の整備による、うつくしいまちづくりの創出。						
評価の視点	必要性	○計画自動車交通量 5,700台/日 ○交通結節点アクセス(2次アクセス) JR飯田駅、飯田IC ○中心市街地のにぎわいづくり(沿道用途) 商業地域、近隣商業地域 ○地域の特性 飯田景観計画整備地区					評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合 長野県総合五ヶ年計画における『調査対象箇所』、飯田都市計画区域マスタープラン ○緊急輸送道路等の路線指定 飯田市指定緊急輸送路					評価	A
	効率性	○費用便益比(B/C) 1.15 ○事業年数 7ヶ年 ○工法等の比較検討 維持管理の容易性を考慮した構造物(側溝等)の採用					評価	B
	緊急性	○近年(3ヶ年)の交通事故件数 5件 ○渋滞対策・混雑度 0.51 ○通学路対策 平成25年年度合同点検要対策箇所 ○自転車対策 自転車歩行者道に指定が可能					評価	A
	計画熟度	○事業情報の供用 説明会案内用紙を関係者以外に配布 ○地域の取り組み 下伊那土木振興会、飯田市まちづくり委員会より要望等有り ○地域の合意形成 事業目的について合意が図られている ○住民との協働 街路樹の維持管理方針について関係自治会と協議中					評価	A
	部意見	事業の緊急性、必要性、重要性が高いため平成27年度より新規事業化を図りたい。		行政改革課意見		当路線は中心市街地と周辺地域を結ぶ重要路線であるが、歩道未整備区間があることから、必要性、重要性、緊急性が認められる。	評価結果	総合評価

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)

【平面図】 飯田中津川線 L=440m W=6.0(16.0)m

【位置図】

【整備の必要性がわかる状況写真等】

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景
当路線は、中心市街地と周辺地域を結ぶ幹線道路である。当整備区間は現道が狭く歩行者と交通車両が錯綜し危険な状況である。また、(都)羽場大瀬木線と接続し中央自動車道飯田IC、同松川ICと市街地を結ぶアクセス道路となっていることから、都市交通の円滑化を図る面においても早急なる整備が求められている。

②地域からの要望経緯及び地域の関わり
当路線は、都市計画決定された区間において、土地区画整理事業と合わせ道路整備が進められてきた。しかし、当該箇所については、土地区画整理事業が白紙となったため、道路も未整備のままであり、飯田市及び沿道地区より道路整備を求められる。

③事業説明等の経緯
H21事業内容について地元へ説明を行い概ね了解される。
H25チラシ配布により、測量に係る土地の立入依頼及び詳細設計を実施。
H26.4.30自治会役員へ設計に係る説明会を実施。

④他事業・プロジェクトとの整合、関連
しあわせ信州創造プラン(調査対象箇所)、飯田都市計画区域マスタープラン、飯田市景観計画

⑤自然環境・生活環境への影響と配慮
通学児童をはじめとする歩行者や自転車車が安全に通行でき、防災機能を有する道路と、沿道の住環境が同時に整備されることにより、安心して暮らせるうつくしいまちづくりの推進が期待される。

⑥地域活性化への影響と配慮
本道路と(都)羽場大瀬木線((主)飯島飯田線)の整備により、中央自動車道飯田ICと中心市街地が円滑に結ばれ、人流・物流の効率化が図られるとともに、沿線の活性化が期待される。
また、今後予測されるリニア中央新幹線工事に伴う関係車両の増加対策となることも期待されている。

⑦その他

事業代表地点の緯度経度
北緯:N 35度31分4.25秒
東経:E 137度49分5.80秒